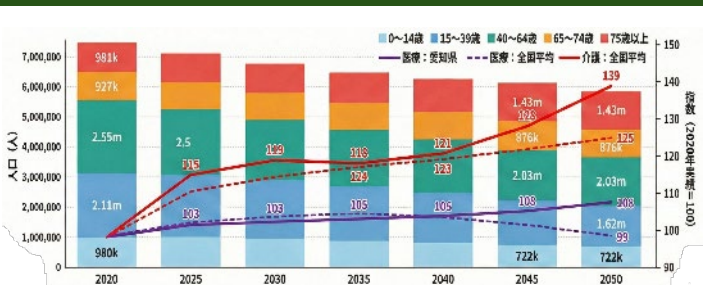


堅調な経営基盤に基づく教育・研究環境の充実と 地域医療を継続的に支えるFUJITAモデル

愛知県の人口構造の変化と急増する医療・介護需要



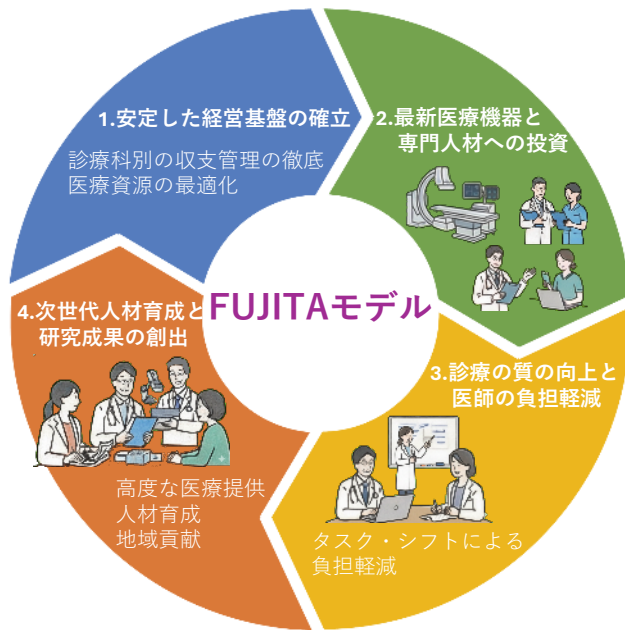
2025年にかけて75歳以上の人口が1.5倍
(約98万人→143万人)に増加するのに伴い、
愛知県の医療介護需要指数は139へ増加する。

大学病院の課題

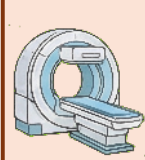
- ・増収減益という厳しい経営状況
- ・医療機器の老朽化
- ・若手医師の減少

改革構想の実現に係る成果目標

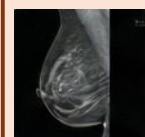
- ①地域医療の維持と経営基盤の安定化
- ②臨床研究中核病院の承認を目指した機能強化とエビデンスの創出
- ③タスク・シフトの推進と高度専門人材の育成
- ④地域医療構想に基づく医療機能分化・連携の具体化



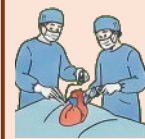
最新医療機器の戦略的導入



【泌尿器科】
SPECT装置による精密医療
前立腺がんRLT効果評価、
治療効果、副作用予測、
研究・教育



【乳腺外科】
マンモグラフィの更新
3次元撮影（トモシンセシ
ス）対応、診断制度・検査
効率向上、健診受診率向上



【循環器内科】
TAVI研修による高度専門医
育成
低侵襲TAVI治療研修強化、
地域で活躍する総合力のあ
る専門医育成



・安定した経営基盤に基づく教育・研究
環境への構造転換

専門人材による医師の環境創出



- 診療放射線技師、特定行為
区分別修了者、藤田診療看
護師（FNP）の戦略的配置
- 教育・研究に専念できる
「時間」の創出
教育・研究・臨床に取り組
める環境整備
- 医療DXによる業務効率化
- 生成AIによる退院サマリの
作成により60%の時間削減